

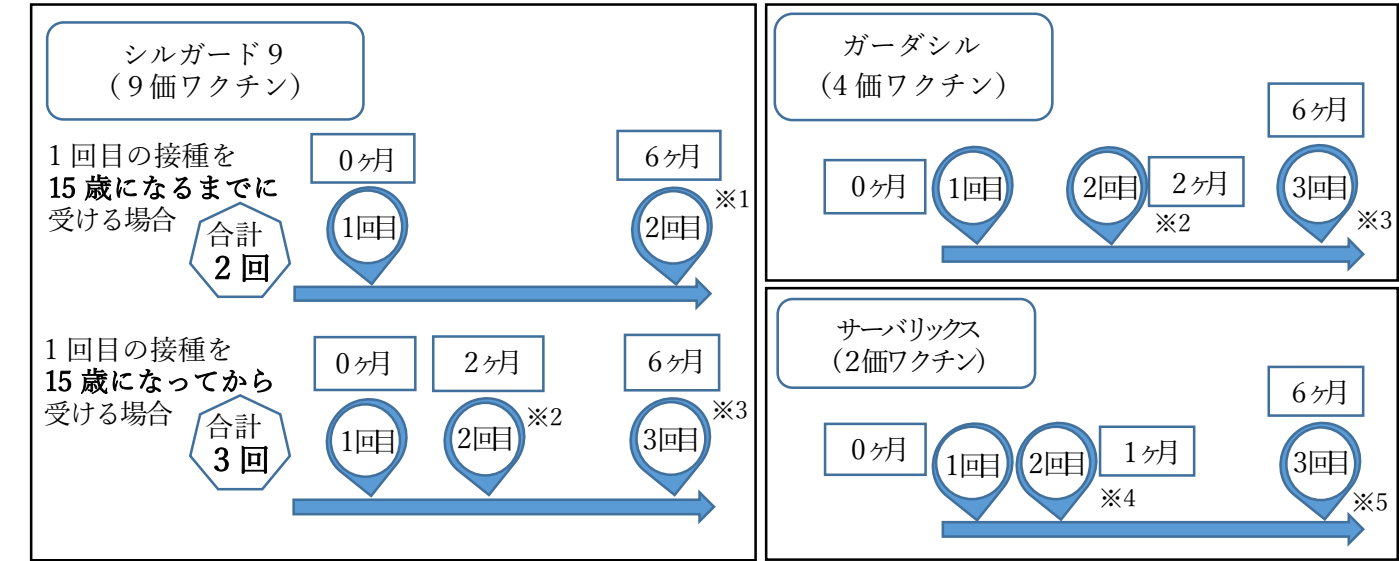
子宮頸がん（ヒトパピローマウイルス感染症）予防接種について

ワクチンの種類と接種間隔と回数

公費負担で受けられるワクチンは3種類あり、原則として同じ種類のワクチンを接種します。（ワクチンによって接種間隔と接種回数が違います）

ワクチンの種類	標準的な接種年齢	標準的な接種間隔	ワクチンの違い
2価ワクチン (サーバリックス)	中学1年生に相当する 年齢の女子 ※法定接種年齢（小学6 年生から高校1年生に相 当する年齢の女子）であ れば、公費負担で接種を 受けることができます ※接種完了まで6か月程 度かかります。	0か月：1回目接種 1か月：2回目接種 6か月：3回目接種 合計3回で終了	HPV 16、18 型の感染 を予防するワクチン
4価ワクチン (ガーダシル)		0か月：1回目接種 2か月：2回目接種 6か月：3回目接種 合計3回で終了	HPV 16、18 型及び6、 11 型（→主に尖圭コンジ ローマ（良性のイボが性 器や肛門の周りにできる 病気）の原因となるウイル スの感染を予防するワ クチン
9価ワクチン (シルガード9)		（1回目の接種を15歳になるまでに受ける場合） 0か月：1回目接種 6か月：2回目接種 合計2回で終了 （1回目の接種を15歳になってから受ける場合） 0か月：1回目接種 2か月：2回目接種 6か月：3回目接種 合計3回で終了	HPV 16、18、31、33、 45、52、58 型及び6、 11 型（→主に尖圭コンジ ローマ）の原因となるウ イルスの感染を予防する ワクチン

接種スケジュールのイメージ



※1 1回目と2回目の接種は、少なくとも5ヶ月以上あけます。
※2・3 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の2ヶ月後と6ヶ月後にできない場合、2回目は1回目から1ヶ月以上（※2）、3回目は2回目から3ヶ月以上（※3）あけます。
※4・5 2回目と3回目の接種がそれぞれ1回目の1ヶ月後と6ヶ月後にできない場合、2回目は1回目から1ヶ月以上（※4）、3回目は1回目から5ヶ月以上、2回目から2ヶ月半以上（※5）あけます。